

持田「発想自体は実にシンプルです。入学試験の意義を突き詰めて考えた時に、その本質は大学の授業についていけるかどうかを判定するためにやるものであると。ペーパーテストや内申点で、それを推し量ること以外にどんな方法があるのかを考えた結果、導き出されたのが受験者に大学の授業を体験してもらい、その学ぼうとする姿勢を判定した方がわか

## ご挨拶



名古屋学院大学  
理事長  
内山道明

名古屋学院大学同窓生のみならず各界でますます活躍のご声からお喜び申し上げます。また、日頃同窓会の運営に当たられておられます会長をはじめとして役員のみならず、ご努力に心から敬意を表します。みなさまにおかれましては、すでに承知のとおり、本学も38年の歴史を重ね、今日では大学院と研究科・1通信教育課程、3学部5学科が開設され、学生数も5000名を超える中堅大学における優良中堅大学として位置づけられるようになってまいりました。

昨今の教育環境は私学にとつて、きびしさを増しており、経営努力ならびに教育充実策を教職員あげてはかっているところです。同窓生のみならず、ご力強いご支援をお願い申し上げます。

ぬいという訳なのです。AO入試の主旨には二つあって、一つは大学側が今言ったことを判定するため、二つ目は受験生自身が志望する学部学科でどんな内容の勉強をするのか体験してもらい、それがわかった上で入学してもらえらるということなのです。これは大学、受験生の双方にきっちりしたコンセンサスができるという利点が大いいですね。」

占部「本学のAO入試は、受験生が大学の授業をある程度理解した上で入学できるので、受験の方法論としては、良い選択肢の一つですね。確かに大学で取り組む勉強の古写真が明確に見えるので、良い方法だと思います。」

持田「本学のAO入試は、受験者全員に4日間に渡る12コマの授業と学内行事に参加していただき判定する制度ですから、書類選考や面接に主眼を置きがちな他大学のAO入試とは性格や手法が異なります。高校側からも良い評価をいただいています。現在、AO入試で入学する学生の比率は20%弱くらいですが、今後ももう少し増やしていきたいと考えています。」

占部「先程お話に出た入学時の導入教育やAO入試といい、私たちが本学に入学した頃とは授業の内容も方法かなり様変わりしてきたなというのが実感です。私自身、入学した時に、原論など難解な講義タイトルを目にして、やけに難しそうな名前だなと(笑)。もう少しわかりやすい副題が付いているのもっと興味を湧くのに、と思ったことを覚えています。」

「講義タイトルのお話が出ましたが、来年度は商学部に新学科を設立されるそうですね。その名前と内容を教えてくださいませんか。」

持田「新学科名は『情報ビジネスコミュニケーション学』です。学科内には、『経営情報コース』と『ビジネスコミュニケーション』の2コース



占部会長

スあります。社会の経済の状況やIT技術の進展、企業ニーズ変化など様々な局面を見据えて、文系大学の中では最先端の教育を行っていきたくですね。本学が目指す「語学に強いビジネスマン」を柱に、コンピュータに強く、語学にも強い学生の育成を考えております。」

占部「私たち社会人からすると、そんな頼もしい学生を育てていただけるとは大変ありがたいですね。企業が欲しているのは社会に通用する即戦力ですから、今のようない経済情勢の中でも確実に社会や企業から求められる人材を是非送り出してください。大いに期待しています。」

## 社会人生涯教育にも積極的に「さかえサテライト」の果たすべき役割

「本学には大学院、そして社会人教育の場として『さかえサテライト』があります。生涯教育の観点から、どのような取り組みを考えられているか教えてくださいませんか。」

持田「大学とは、学生のみを対象にした教育を行う機関ではなく、より社会に開かれた存在であるべきだと思います。キャリアアップが目的で勉強をされる方、自己の視野を広げるためにさらなる知識の習得を目指す方など様々な目的をお持ちの皆様を評価していただける社会人生涯教育の場を作ってまいりたいですね。これらのニーズにしっかり満たすためにも、今後の方向性を学内でしっかり議論して具体化していきたいと思っています。社会人生涯教育への取り組みが社会貢献になる、そんな形を目指しています。」

占部「例えば、自己啓発セミナーやビジネスセミナーなども開講していただけると私たち社会人としては嬉しいですね。是非聴講しなくてはと思いますので、そちらの方向性も検討していただけるとありがたいと思います。」

持田「いろいろな可能性を包括的に含めて考えてまいりたいと思います。」

## 変わるモノ、変わらないモノを明確に

「最後に、学長から同窓会に要望したいことがあれば教えてくださいませんか。」

持田「先程から私は本学の『教育改革』を中心に、名古屋学院大学が変わっていくというお話をお話をさせていただきました。私から同窓会の皆様へお願いすること、それは変わっていく本学に暖かいご支援を賜りたいことはもちろんですが、変わらないモノを、一緒に守っていただきたいと思えます。それはキリスト教主義が根底に流れる『校風』であり、諸先輩方から現在の学生まで脈々と受け継いできた本学の校風を維持していくためには、やはり同窓会の方々と暖かいつながりが大切ですね。こちらの面でも是非皆様のご支援を賜り、本学をさらに発展させていけるよう心からお願ひ申し上げます。」

占部「職務の中、いろいろ多岐に渡ってお話しいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。」



### Profile

名古屋学院大学 学長  
持田辰郎

1952年生まれ 高校出身  
東京大学文学部卒業  
1982年 本学経営学専攻科に教授  
1983年 本学に就任  
2002年 名古屋学院大学 学長に就任  
●研究分野 西洋近代哲学